

災害対策で功績のあった9団体を表彰します ～災害対策功労者 東北地方整備局長表彰～

東北地方整備局では、管内において地震、風水害、火山災害等の自然災害及び大規模火事、水質事故等による事故災害が発生又は発生のおそれがある場合に、それらの災害の予防・復旧に顕著な功績があった個人及び団体を災害対策功労者として表彰しております。

○表彰者

平成19年9月に発生した水害に際し被害の拡大防止に尽力した。

- ・大森建設 株式会社
- ・高崎測量 株式会社
- ・株式会社 ウヌマ地域総研

平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震に際し被害の拡大防止に尽力した。

- ・社団法人 岩手県建設業協会 一関支部
- ・鹿島・清水・大本特定建設工事共同企業体
- ・株式会社 金原土建
- ・丸か建設 株式会社
- ・渋谷建設 株式会社
- ・株式会社 エイトコンサルタント

(順不同)

○表彰事由等

別紙のとおり

○表彰日時等

日 時 平成20年10月7日(火) 14:00～

場 所 東北地方整備局 大会議室(二日町庁舎)

〈発表記者会： 秋田県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、東北電力記者会 東北専門記者会〉

問い合わせ先
国土交通省東北地方整備局
総務部人事課長 水谷 賢二(内2251)
企画部防災課長 松井 幸一(内3411)
仙台市青葉区二日町9-15 022-225-2171

団体名	所在地	功績概要
大森建設㈱ 代表取締役 大森 三四郎	秋田県能代市河戸川字 北西山48番地1	平成19年9月16日未明からの降雨により18日に能代市扇田地先の米代川右岸堤防の漏水及び堤防斜面が崩落が発生した。この災害に際し同社は24時間体制で迅速な復旧作業を行い、災害の拡大防止に尽力した。
高崎測量㈱ 代表取締役 高崎 眞規男	秋田県山本郡八峰町 八森字五輪台下段2	平成19年9月16日未明からの降雨により米代川二ツ井水位観測所では18日深夜に計画水位を超過した。そんな中、同観測所の観測機器が故障したことから同社に修繕を依頼、観測局舎直下まで水位がせまる中、危険を顧みず迅速冷静に観測機器を復旧させ、大洪水時のデータ保持のため尽力した。
㈱ウヌマ地域総研 代表取締役 鶴沼 順二郎	秋田県秋田市八橋新川向 13-19	平成19年9月16日未明からの降雨により米代川は最高水位を記録する大出水となり沿線地域に多大な被害をもたらした。この未曾有の水害に係る痕跡調査に際し、被災者への聞き取り調査を行うにあたり、同社は徹底した社員教育を行うなど被災者の心証に配慮したきめ細やかな聞き取り調査を短期間に実施し、維持管理に向けた提案も行うなど、復旧計画に尽力した。
(社)岩手県建設業協会 一関支部 支部長 宇部 貞宏	岩手県一関市上大槻街 5-6	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震で、北上川支川磐井川(市野々原地区)に発生した河道閉塞(天然ダム)による水位上昇を防止する仮排水路の掘削等の緊急工事及び磐井川支川産女川における土石流の待ち受けのため既存砂防ダムの除石を行う緊急工事を実施し、同川における土砂災害の拡大と二次災害の防止に尽力した。
鹿島・清水・大本特定建設 工事共同企業体 現場代理人 品川 敬	岩手県奥州市胆沢区 若柳字愛宕488-1	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震において、ダムの右岸仮排水トンネル上部法面が崩壊し、土砂・倒木が呑口部に崩落し堆積した。これら堆積土砂や倒木は、トンネル閉塞をひきおこし、ひいては湛水したのち堤体を越流しダムの被害は勿論のこと、最悪の事態を想定した場合、ダム下流への甚大な被害も考えられた。同企業体は、それら崩落した倒木を一早く発見し、トンネル閉塞の影響による被害の大きさを察知し、度重なる余震のさなか、作業中での崩落の危険や、作業箇所の湛水の危険がせまる中での撤去作業を行うなど、被害発生防止に尽力した。
㈱金原土建 代表取締役 金原 知宏	宮城県大崎市古川南町 1丁目6番11号	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震を起因とする、北上川水系迫川流域において発生した河道閉塞(天然ダム)災害において、昼夜を問わず24時間体制で仮排水路の施工等の応急復旧工事を行い、河道閉塞(天然ダム)箇所の決壊を未然に防ぐなど、安全確保に貢献した。
丸か建設㈱ 代表取締役 佐々木 浩章	宮城県加美郡加美町字 赤塚37	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震を起因とする、北上川水系迫川流域において発生した河道閉塞(天然ダム)災害において、昼夜を問わず24時間体制で仮排水路の施工等の応急復旧工事を行い、河道閉塞(天然ダム)箇所の決壊を未然に防ぐなど、安全確保に貢献した。
渋谷建設㈱ 代表取締役 渋谷 浩一	福島県伊達郡桑折町 大字南半田字六角37	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震により、磐井川上流の市野々原地区で発生した天然ダムの排水の為に、福島河川国道事務所所有の可搬式排水ポンプ(2台)等災害対策用資器材を現地(岩手県一関市)に搬入し、また、北陸地整から支援された排水ポンプを含め市野々原地区に排水ポンプ設備6台の設置及び操作に関し現地作業員の指導等を迅速かつ的確に行い、天然ダムの決壊や氾濫を防止すると共に、被災地の被害拡大の防止に尽力した。
㈱エイトコンサルタント 代表取締役社長 小谷 裕司	東京都中野区本町5丁目 33番11号	平成20年6月14日発生の岩手・宮城内陸地震において、河道閉塞により発生した天然ダムの水位をリアルタイムで測定・配信し、本局災害対策本部及び関係機関への情報提供を行った。これにより、一迫川流域への避難勧告等の判断並びに災害復旧工事関係者の安全確保に貢献した。